

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第1回守谷市保健福祉審議会地域包括ケアシステム分科会		
開 催 日 時	令和元年6月25日(火) 開会：14時07分 閉会：15時50分		
開 催 場 所	守谷市役所 議会棟 第3委員会室		
所管課	保健福祉部 介護福祉課		
出席者	委 員	田中分科会長、清水委員、西川委員、東ヶ崎委員 計4名	
	そ の 他		
	事 務 局	介護福祉課 稲葉次長兼課長、森山所長、鈴木課長補佐、市村係長、古澤係長、芳師渡係長、平井係長 計7名	

審 議 経 過

(1) 第7期守谷市高齢福祉計画・介護保険事業計画における平成30年度の評価について

第7期計画に対する実績及び今後の取組を記載した項目ごとの評価シートにより、平成30年度における事業評価の報告をした。

意見及び質問

- ・地域ケア会議は民生委員も会議に出席しているか。
→ 困難ケースを抱える地域では会議を開催し、民生委員にも出席していただいている。
- ・高齢者虐待の評価(19件)をどう考えるか。
→ ケアマネジャーや介護事業所の職員が研修等を受け虐待について習熟することで問題が顕在化するものや、ケアマネジャーの在宅支援により、早期に介入できれば虐待の予防ができることもあり件数を一概に評価することは難しい。単純な問題ではないため、指標の表記方法を検討する。
- ・作業療法士、言語聴覚士及び理学療法士が所属する茨城県リハビリテーション専門職協会を活用して事業を推進するとよい。
- ・SOSネットワーク事業については、ケアマネジャーへの周知のほかにも情報提供が必要ではないか。また、登録情報はそのままになっていないか。
→ 周知方法については今後とも工夫する。登録情報は5年ごとに更新している。
- ・生活支援体制整備事業の第一層協議体はどのようなものか。
→ 各地区のまちづくり協議会の連合会のような位置付けの協議体。

(2) 第8期守谷市高齢福祉計画・介護保険事業計画策定のスケジュールについて

第8期計画策定に向けて今年度を実施する「在宅介護実態調査」、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の説明と計画策定に向けたスケジュールについて説明した。また、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」については、市独自の質問を設定できるので、次回の会議で御意見をいただきたいと説明した。

意見及び質問

- ・在宅介護実態調査については誰が調査を行うのか。また、いつから始まっているのか。
→ 介護認定調査員が実施している。平成30年10月から開始しており、調査は600件を目標とし、現在339件集まっている。
- ・調査項目は多すぎないほうが高齢者は回答しやすい。
→ 国が決定する調査項目が第6期計画のニーズ調査の時にかなりボリュームがあり、高齢の方が回答をしきれないという反省に基づき、7期計画の策定時に削減された。

※次回は、9月に開催する予定